

平成25年
12月定例会

一般会計補正予算（第4号）等の議案を原案可決

平成25年第9回（12月）定例会は、去る12月4日から12月18日までの15日間の会期日程で開かれました。

今回の定例会には、「石垣市税条例の一部を改正する条例」等の条例議案14件、「平成25年度石垣市一般会計補正予算（第4号）」等の予算議案7件、その他議案15件の計36件の議案が市長より提出され、総務財政委員会には、「平成25年度石垣市一般会計補正予算（第4号）」等6件の議案を付託。経済民生委員会には、「平成25年度石垣市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）」等12件の議案を付託。建設土木委員会には、「平成25年度石垣市港湾事業特別会計補正予算（第3号）」等14件の議案が付託され、建設土木委員会において閉会中の継続審査となった「町の区域及び名称の設定について」等2件の議案を除き、慎重審査の結果、それぞれ原案可決すべきものと決定され、本会議において可決・同意及び報告されました。

議員提出議案については、「米軍普天間飛行場の早期閉鎖・早期返還を求める意見書」等の意見書3件、「中国による当市行政区域の尖閣諸島上空を含む防空識別圏の設定に対する抗議決議」あわせて4件の意見書・決議がそれぞれ原案のとおり可決されました。

12月11日から12月16日の4日間の日程で行われた一般質問では、15人の議員が本市の諸課題について質すなど活発な議論が交わされました。

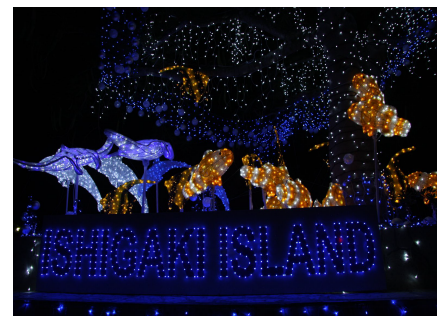
明石小学校体育館事業費を増額計上
平成25年度一般会計
補正予算（第4号）
原案可決

十二月定例会では、総務財政委員会（平良秀之委員長）に「平成25年度一般会計補正予算（第4号）」など六件の議案が付託され、慎重審査の結果、それぞれ可決すべきものと決定され、本会議において委員長報告のとおり可決されました。

今回の一般会計補正は、既決予算の総額に歳入歳出それぞれ三億三、六六一万八千円を追加し、予算の総額を二四七億一、二四一萬六千円と定めるものです。

その主な歳出の内訳としては、「新川地域居住再生推進事業」一、九一七萬二千円、「明石小学校屋内運動場新增改築事業」二億五、九二七萬五千円、などが計上されております。

なお、審査報告では、一括交付金事業等の事業計画策定にあたり、慎重な検討と関係機関との連携強化を図るなど予算執行に支障がないよう予算の計上及び執行の改善を図るよう執行当局に強く指摘しました。



沖縄振興特別推進交付金（一括交付金）により整備されたイルミネーション

岩手県北上市との 友好都市提携を可決

今回の定例会では、岩手県北上市と石垣市との間において、かけはし友好都市提携に関する議案が可決されました。

北上市との友好交流は、一九九四年の岩手県の大冷害時に石垣市で、種もみ緊急増殖事業を実施したことが契機となり、その後、農業交流や教育交流のほか、両市で開催されるマラソン大会に市民や関係者が相互に参加するなど民間交流が深められており、交流二十一年を節目に友好親善を更に促進するため、友好都市提携に関する協定を締結し、農業、スポーツ、教育、観光等の諸分野における交流

閉会中の継続審査 陳情案件等三件

今定例会では、新港地区の名称を南ぬ浜町（ぱいぬはまちよう）と設定する議案と南ぬ浜町の名称設定が前提となる議案の市長提出議案二件が、建設土木委員会（仲嶺忠師委員長）からの申し入れにより閉会中の継続審査として承認されました。

当該名称の設定は、今後の港湾事業とも関連するため、今後の審査が注目されます。

また、経済民生委員会（上門孝子委員長）においては、「障がい児・者の発達支援システムに関わる部門設置について」の陳情案件が閉会中の継続審査となりました。

陳情案件の委員会付託は、

を通じて相互の理解と信頼を深め、両市の発展と繁栄に努めるものとしております。

なお、他の自治体との友好都市の締結は、平成十二年十月の徳島県上板町との締結以来、実に十三年ぶりということになります。

【北上市の概要】

○人口 九三、九二九人
○面積 四三七・五五k㎡